

2022年5月13日
環境社会配慮助言委員会委員長 原嶋 洋平
担当ワーキンググループ主査 島 健治

フィリピン国南北通勤鉄道延伸事業（フェーズ2）
（協力準備調査（有償））
スコーピング案に対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・ 日時：2022年4月4日（月）13:59～16:39
- ・ 場所：オンライン会議（Teams）
- ・ ワーキンググループ委員：島委員、寺原委員、錦澤委員、日比委員
- ・ 議題：フィリピン国南北通勤鉄道延伸事業（フェーズ2）（協力準備調査（有償））に係るスコーピング案についての助言案作成
- ・ 配付資料：
 - 1) 【事前配布資料】フィリピン国南北通勤鉄道延伸事業（フェーズ2）（協力準備調査（有償））SC案
 - 2) 回答表
- ・ 適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン（2010年4月）

全体会合（第136回委員会）

- ・ 日時：2022年5月13日（金）14:00～16:39
- ・ 場所：JICA本部2階229会議室およびオンライン会議

上記の会合にて助言を確定した。

助言

全体事項

1. 代替案の評価に関しては、各項目を定量化したデータあるいは質的・定性的な判断根拠に基づき、項目ごとの重みを明確にしたうえで、理由等を詳述し、総合評価に至った理由を DFR に記載すること。

環境配慮

2. 生態系（重要な自然生息地・重要な森林の確認に資する絶滅危惧種の生息）にかかる先行および本調査結果と、本事業における重要な自然生息地・重要な森林への著しい影響の有無（事業地近傍での重要な自然生息地・重要な森林の該非を含む）について整理し、DFR に追記すること。

社会配慮

3. 先住民族への影響ならびにその影響への配慮を検討するにあたっては、ROW 内に居住する先住民族への影響だけでなく、申請中の CADT（先祖伝来領域権原証明書）に関しては、手続きの進捗に加え、本事業 ROW が同地域に重複する箇所について先住民族の土地や天然資源への影響を含めて検討し、その内容について DFR に記載すること。また、保留中の CADT に関しては、可能な限り手続きの進捗を確認し、本調査期間中に正式に申請がなされた場合は本事業 ROW が同地域に重複する箇所について先住民族への影響を検討し、その内容について DFR に記載すること。
4. 住民移転の移転地について、対象となる 176 世帯の意向ならびにフェーズ 1 事業の社会モニタリング結果を踏まえた上で、同市内の現在の居住地からできる限り近い場所が選択肢に含まれるよう実施機関にはたらきかけること。

以上